

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 埼玉版スーパーシティプロジェクトに対する鶴ヶ島市の考え方について (20分)</p> <p>超少子高齢社会を見据え、県内各地の特性を生かし、県民一人ひとりが支え合って日常生活を心豊かで、安心・快適に暮らせる持続可能なまちづくり、「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現に向けて、埼玉県による埼玉版スーパーシティプロジェクトが進められており、既に11の市町がそれぞれ具体的な施策をもってエントリーしています。</p> <p>「コンパクト」:必要な機能が集積しゆとりある”魅力的な拠点”を構築。「スマート」:新たな技術の活用などによる”先進的な共助”を実現。「レジリエント」:誰もが安心して暮らし続けられる“持続可能な地域”を形成。これら3つを要素とする持続可能なまちづくりに県内市町村とともに取り組むプロジェクトであり、本市においても積極的に活用していくべきと考えます。</p> <p>このプロジェクトに関しては、今年の3月議会でも質問しておりますが、本市にとって有効性の高いプロジェクトであると考えられることから、改めて質問いたします。</p> <p>(1) プロジェクトに関する県からの説明について (2) 他の市町村の状況について (3) プロジェクトへの市の対応について</p>	市長
<p>2 鶴ヶ島市農業振興地域整備計画の見直しと都市計画法第34条第12号を活用した開発行為について (10分)</p> <p>現在、進められている鶴ヶ島市農業振興地域整備計画の見直しと都市計画法第34条第12号いわゆる産業系12号を活用した開発行為について、以下質問いたします。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市農業振興地域整備計画の見直しの現状について (2) いわゆる産業系12号を活用した開発行為の現状について</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>3 （仮称）「つるの駅」構想及びその周辺整備について （30分）</p> <p>齊藤市長2期目の目玉施策である（仮称）「つるの駅」のイメージの一つとされる新潟県妙高市の新井ハイウェイオアシス「道の駅あらい」を、会派大空・つるがしま未来で視察してきました。</p> <p>（仮称）「つるの駅」=食の駅としての要素について、これまでイメージし難い感じでしたが、実際に視察してみると、良く理解することができました。</p> <p>「道の駅あらい」では、10を超える飲食関連の店が連なり、その他に地元の魚介、農産物などの直売所や行政、観光案内所、ホテル、コンビニエンスストアなどがあり、利用者にとって満足感のある施設でした。</p> <p>また、国道18号線と上信越自動車道の間挟まれる形で施設が形成されていて、上信越自動車道長野方面行のあらいパーキングエリアから直接道の駅には入れるなど、交通利便性の高い施設でした。</p> <p>今年度末には圏央鶴ヶ島インターチェンジのフルインター化の整備が完了し、都市計画道路川越鶴ヶ島線が圏央道と接続され、さらに国道407号線につながる予定です。</p> <p>このように交通利便性が高まる中で、食の駅としての事業展開が予想される（仮称）つるの駅構想及びその周辺整備について、前回の9月議会の一般質問に続き、質問いたします。</p> <p>（1）事業化に向けての現在の状況について （2）集客ターゲットについて （3）民間活力の導入について （4）地域産業の活性化について （5）鶴ヶ島市運動公園2期整備のエリアとの兼ね合いについて （6）いわゆる産業系12号との兼ね合いについて （7）今後の事業の進め方について</p>	市 長